

358

外で中人らの詩吟と果狸や唄を一寸耳にただけで
返却でフドに潜り込んで了った。素人洗足さんと
皆が感心してゐる。

レディオの聴取は今の処倒産許可を申し立てる
報告からだった。

九月廿日(金)

今日は大分暑さが重たい。茲二日は殆んど断食
同様な効果だ。

田中博士の忠告により、一應収容所病院に出かけ
田中博士に就き病状の記録を取って貰ひ、食卓に
関するnoteも得て食堂に提出した。欲いのは
ミルクと boiled eggs だけだ。どうも思ふ存じりかんら
ない。結局は食って良いものだけ食って、其餘が無
ければ断食するの事である。田中博士から更に
食堂と食卓の交渉して貰ふ事になってゐるが、さう
の期待は有つて居らん。

news によると独米の交換船が廿七日短着出
帆リスボント向ヶ方へ出てゐる。帰港後在米
時外交官其他の乗船有た西洋と横断といふ
毀取りであつて、廿月末だらうといふ。才一回船
に定例乗船してゐるのだ。

終日、天気晴朗、だが涼風、やかしにも人
地よくオレゴンからは青嵐といふ処であるが、寒
いとか青嵐の影を見る事が出来ぬ。此キャンプ

359

に移動に向かい、お野さんが、窓の天幕前に
やさしく長方形に土と糞、数々の花の種を播
いた。今、新しく青い芽が出始めて、暑さを感
じている。近頃、内に花を見ずには、またも此処を
去らねばならぬ。どうして同じ村に、お野さん
の塋墓が、将に成らんとした時、冷も移動命令に
接した。皆が、この花苗が目ざした。昨今、今に
く、又にも移動される。意、ふ、ふ、と。
豫言者らしく口を揃えて、毎日伸びる芽を賣へて
嘆息もする。オニオンの大
塚君は、アオンと空の籠に、盆栽の村型どって、
造りの卓上に目と鼻を付けて、困る。生計中
おは花を愛する。同胞の素心、根こそ痛々しい
限りである。

九月九日(土)

今朝は胃腸の調子が順調で、目ら軽快を
感じる。

昼食に、俺はかりの米飯に、フーニユを二個
混ぜ、お茶漬をやって、久し振りの好物で、結
果を内々愛し、お茶漬も味つた。中にも、味か
った。果然、食ねは、少々、寒かつた。目ら、犯
した。田中に、クマの幹、蛇の、夕飯から
糖尿病患者のテーブルに、共に食事する。早に、
つた。胃腸に、對する、之れ、い、い、特別の食餌